



くりのみ

令和5年9月29日
栗駒幼稚園・栗駒保育所だより 10月号



今年の夏はとても暑く長かったですね。最近、日も短くなり、季節はすっかり秋です。幼稚園は運動会を終え、一人一人が達成感を感じ、異年齢の関わりを深めながら遊ぶ様子が見られます。そして、明日は保育所の運動会です。子ども達には、いろいろな経験を通して、心も体も大きく成長してほしいと願っています。

“スポーツの秋”“食欲の秋”“読書の秋”澄んだ空気を吸いながら散歩をしたり体を動かしたり、美味しい物をお腹いっぱい食べて、お気に入りの絵本を楽しんだり・・・お子さんと素敵な秋を見つけてくださいね。

教育目標：豊かな感性と創造力をもったたくましい子どもの育成

- 《0歳児》 ☆保育者の動きを真似しながら、自分なりに体を動かすことを楽しむ。
- 《1歳児》 ☆身近な秋の自然に触れながら、友達と体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 《2歳児》 ☆ごっこ遊びや表現遊びを通して、保育者や友達との言葉のやり取りを楽しむ。
- 《3歳児》 ☆教師や友達と関わって遊ぶことを楽しめるようにする。
- 《4歳児》 ☆友達と関わって遊ぶ中で、自分の思いやイメージを表すことを楽しめるようにする。
- 《5歳児》 ☆自分の考えを友達に伝えながら目的をもって友達と一緒に遊びを進める楽しさを味わえるようにする。

10月の予定

- 【幼】 3日（火）花山親子遠足（年中）
- 【幼】 4日（水）臨時休業
（栗原市幼稚園公開保育研究会のため）
- 【幼】 5日（木）秋の交通安全教室
- 【幼】 6日（金）第1学期終業式
- 【幼】 10日（火）秋季休業日
- 【保】 体位測定
- 【幼】 11日（水）秋季休業日
- 【幼】 12日（木）第2学期始業式
- 13日（金）自衛消防訓練（火災想定）
- 【保】 19日（木）おはなしポケット（1歳児・支援センター）
- 【幼】 20日（金）りんご狩り（年少）
- 【幼】 サツマイモ掘り（年中）
- 【幼】 24日（火）園外保育（年長）
- 25日（水）誕生会
- 【保】 26日（木）歯科検診
- 【幼】 30日（月）クッキング保育（年中）
- 【保】 内科検診（0・1歳児）
- 【保】 31日（火）内科検診（2歳児）



11月の予定

- 【幼】 2日（木）中学生との交流会
- 【幼】 6日（月）中学生との交流会
- 7日（火）避難訓練（火災）
- 【幼】 14日（火）発表会総練習
- 【幼】 お弁当の日
- 【保】 16日（木）体位測定
- 【幼】 18日（土）発表会
- 【幼】 20日（月）振替休業日
- 【幼】 21日（火）クッキング保育（年中）
- 【幼】 22日（水）クッキング保育（年長）
- 24日（金）誕生会

※行事予定については、今後変更になることもあります。ご了承ください。



保育所・幼稚園からのお願いとお知らせ

◎ 奉仕作業のご協力ありがとうございました！

9月2日（土）の保護者会奉仕作業では、園庭の除草、砂場の整地やフェンス沿いまできれいにさせていただきました。幼稚園の運動会や外遊びでも気持ちよく過ごすことができました。



◎ 駐車場での事故等に気を付けましょう

日暮れが早まり、夕方はだいぶ薄暗くなってきました。お子さんだけで駐車場へ出たり、遊んでいたりとすることのないよう、手を繋いで安全にご配慮いただきますようお願いいたします。

【幼稚園からのおしらせ】

◎ 臨時休業について

10月4日（水）は市内幼稚園公開保育があり、職員研修のため臨時休業です。

交通事故等には十分に注意し、お過ごしください。

預かり保育は通常通り行います。スクールバスはありませんのでご家庭での送迎をお願いいたします。

読書の秋に感動の一冊を！



今回おすすめしたい絵本は、はせがわゆうじさん作の「もうじきたべられるぼく」というお話です。

「ぼくはうしだからもうじきたべられるのだそうだ」という一文からはじまります。運命を受け入れたうしは最後にお母さんのもとへ向かいます。そこでうしが願ったことは…。

普段何気なくいただいている沢山の命達。命の尊さや食への感謝の気持ちをお子さんに伝えられる一冊です。第7回未来屋えほん大賞の大賞受賞作にもなっています。読書の秋にいかがですか？

『ごほうび考』 先日の運動会後の子どもたちのおしゃべりから

幼稚園の運動会后、ごほうびにおもちゃなどを買ってもらった、お小遣いをもらったというような話で盛り上がっている子どもたちがいました。その中で、障害物の鉄棒の技が大成功した年長のお子さんが「私は何も買ってもらわないよ。だけど『今度公園で、また鉄棒をやって見せてね』って言われた。」と笑顔で教えてくれました。

「物」は確かに頑張るモチベーションが上がるかもしれませんが。しかしそれが頑張りの対価となってしまうと、後々には「頑張ること」＝「ごほうびがないとやれないくらい嫌なこと」という認識に繋がり、物事の価値観に影響を及ぼします。同じようなことは勉強やお手伝い、何事にも起こります。

先のお子さんのように、最大のごほうびは「がんばりを認めてもらうこと」とであると、頑張ることのよさやうれしさが次の意欲へとつながっていきます。私たち大人は「褒め上手」でありたいですね。

ちなみに、明日の保育所の運動会で2歳児さんが玉入れをします。幼稚園のお兄さんお姉さんに玉の投げ方を教えてもらったり、玉入れゲームを見せてもらったりしてやり方を覚えました。

保育所のかわいい子どもたちに「一緒にやろう！」「ありがとう！」などと言ってもらい、満足した笑顔の幼稚園児さんでした。

心が満たされる魔法の言葉を子どもたちにたくさん伝えていきたいですね！

